

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立鴨谷体育館、鴨谷野球場、荒山テニスコート	
(2) 施設の設置目的	
市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課	
(4) 指定管理者名	
美津濃株式会社	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<p>管理運営に関する業務(利用申込の受付等、堺市スポーツ施設情報システムに関すること、利用料金の</p> <ul style="list-style-type: none">・ 收受、トレーニング機器の調達・管理、ニュースポーツ用具の貸し出し、人員の配置等、施設利用案内等、苦情・要望対応)・ 施設等の維持管理に関する業務(適正な維持管理、備品等の貸与及び購入、施設・備品等の保守点検業務、施設維持管理業務、施設及び備品の原状変更)・ 自主事業(スポーツ教室の企画及び実施、トレーニング講習の実施、その他の指定管理者が提案し行うスポーツ振興事業) <p>その他の業務(緊急時等への対応、施設内の目的に適したスペースの活用、統計資料等の作成、関係</p> <ul style="list-style-type: none">・ 機関との連絡調整、堺市のスポーツ推進施策への協力、指定期間終了にあたっての業務、利用者情報等の引継ぎ、業務に必要な規則・マニュアル等の作成、堺市との協議、公衆電話の管理)	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	幅広い年齢層を対象とした多種多様なプログラムを提供するとともに、誰もが平等かつ快適に利用できる施設環境を提供した。また、堺市立鴨谷体育館等個人情報保護規程に基づいて各種事務処理を適正に行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	利用状況やイベント開催に応じた人員配置の適正化を推進し、また休館日を利用した研修日には接客サービス研修やリスクマネジメント研修等を実施し、質の高いサービス提供をめざした。利用者が安全かつ安心して利用できるよう、日常点検に加え専門業者による点検を実施した。
施設の設置目的に沿った事業の実施	市民のスポーツ・レクリエーションの振興、健康・体力の増進をめざし、35種にわたるスクール事業及びイベントを実施した。定期スクールの他に1回単位で参加できる教室も設定し、大人・子どもに関わらず、体力に応じて選択ができるような環境を提供した。
その他特筆すべき取組	コロナ禍の中で中止せざるを得ない事業もあったが、グラウンドゴルフ大会やテニス大会、無料イベントの鴨谷フェスタ等を実施。各協会・関係者と協働し、協力を得ることで、地域のニーズに応じた事業を展開することができた。

イ 市による状況分析

鴨谷体育館独自の写真付き備品リストを定期的に更新し、スタッフが入れ替わっても保管場所等が分かりやすいようにする等、貸与備品の適正管理に努めた。
また、様々な利用者を想定した接客サービス研修を年3回実施し、問い合わせに対して適切に対応できるよう人材育成を行った。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指定管理者名	ミズノグループ	ミズノグループ	美津濃株式会社	美津濃株式会社	美津濃株式会社
利用者数(単位:人)	218,223	215,398	157,468	147,127	—
稼働率(単位:%)	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	—
利用者満足度(単位:%)	98.0	98.0	98.7	99.4	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	体育施設利用案内やスクール・イベント情報について、体育館ホームページ・鴨谷体育館 Facebook、Instagram を適宜更新しながら利用促進を図った。
意見・苦情・要望等への対応	利用者アンケートやご意見箱、または普段のコミュニケーションの中での要望を受け、管理外設備への要望にも応え、関係担当部署へ連絡し、要望をお伝えして、実現出来た。
その他特筆すべき取組	スポーツスクールではニーズの高い中高年対象の健康維持・増進スクールに力を入れ、回数の増加や参加しやすい方式にするなどしてニーズに応えた。利用者の要望もあり、Web申込を採用した子ども向け単日スクールを実施。

ウ 市による状況分析

Facebook、LINE、ホームページに加え、Instagramを導入し情報を更新し続け、利用案内やイベント情報の提供を周知徹底することで利用促進を図った。また、参加者のニーズに合わせ、都度払い制を採用している教室の実施回数を増やし、気軽に運動習慣を身に付けられるような場を提供し利用者サービスの向上に努めた。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
指定管理者名		ミズノグループ	ミズノグループ	美津濃株式会社	美津濃株式会社	美津濃株式会社
収入	指定管理料	59,756,000	60,297,822	65,303,917	67,524,424	61,620,000
	利用料金	31,982,820	31,984,160	25,721,305	24,269,935	33,020,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	6,228,355	3,797,686	845,251	1,074,554	3,510,000
	合計	97,967,175	96,079,668	91,870,473	92,868,913	98,150,000
支出	人件費	27,270,827	28,840,551	28,920,123	37,388,284	31,210,000
	委託料	18,474,579	19,194,811	17,254,068	17,345,774	20,490,000
	総支出額に占める 委託料の割合	21.9%	22.5%	20.2%	17.9%	20.9%
	修繕費	5,011,884	5,037,850	4,972,393	4,449,077	5,000,000
	光熱水費	21,137,068	20,073,189	17,922,070	20,552,017	22,680,000
	その他	12,416,674	12,079,971	16,508,081	17,298,451	18,770,000
	合計	84,311,032	85,226,372	85,576,735	97,033,603	98,150,000
収支差額		13,656,143	10,853,296	6,293,738	-4,164,690	0
(市への納付金の額)		0	0	0	0	0
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
収入		31,893,233	29,879,321	20,244,580	21,877,771	30,976,270
支出		25,671,594	26,087,823	19,404,469	20,815,319	27,475,862
収支差額		6,221,639	3,791,498	840,111	1,062,452	3,500,408
(市への納付金の額)		0	0	0	0	0

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な業務の遂行による人件費抑制、また省エネ・節電スタイルの徹底による光熱水費減額に努めた。経理事務については、社内の管理マニュアルに基づき適正に遂行した。 ・指定管理料には市の休館等指示で還付した令和3年度の利用料金等相当分として市が支払った6,455,347円を含む。
------------	---

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症拡大防止策による施設の休館、利用時間の短縮に伴う補填を行ったものの、異動に伴う人件費の増加やガス代等の大幅な単価上昇による光熱水費の増加により支出が増加し、収支が赤字となった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
利用者満足度	90.0%	99.4%

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
施設利用率の向上	体育館 85% 野球場 45% テニスコート 75%	体育館 81.0% 野球場 41.9% テニスコート 78.3%

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金等収入	年額31,565,403円	年額24,269,935円

イ 市による状況分析

利用者の満足度が目標値を超え、100%に近い実績であることは評価できる。施設利用率及び利用料金収入は、新型コロナウイルス感染症による影響が顕著で、目標値に対して実績が低下している。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	年間で休館や時短開館での対応があり、減収及び利用者減になり、全体収支が乖離したが、経費の節減効果もあり、マイナス幅を抑えられた。コロナによる休館中には、通常点検日(休館日)にしか出来なかった整備を積極的に行い、再開後に気持ちよくご利用頂けるように努める事も出来た。利用者の意識も高く、クラスターも無く安心・安全のご利用頂ける体制作りが適宜実行でき、喜んでご利用いただけた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策により施設利用や自主事業に相当な影響があったものの、単日イベントと定期スクールを同じ講師にする等、安心して教室に参加できるような工夫を行い、利用促進に努めた。また、利用者からの苦情が非常に少なく、常日頃から利用者の視点で適切かつ丁寧に運営していることがうかがえる。
今後の取組	コロナ禍での利用者数の減少や自主事業においても減収に終わったが、安心・安全を心掛け、気持ち良く利用して頂ける施設環境を提供し、各種地域団体と連携・協働しながら、スポーツ及びレクリエーション活動を通じて市民の健康増進・振興に貢献する。	利用者アンケート、利用者の声を大切に受け止め、利用者ニーズを常に把握し、高水準の満足度の維持に努められたい。また施設、設備の細部の点検を引き続き行い、不具合の早期発見と早期改善に努められたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの

鴨谷体育館及び所管施設 稼働率

※トレーニング室を除く

(単位：％)

施設名	室名	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
鴨谷体育館	第一体育室	平日	88.6	85.2	86.3	87.1
		土日祝	99.1	95.2	93.5	97.6
		計	92.1	88.5	88.6	90.6
	第二体育室	平日	92.7	89.3	88.3	93.5
		土日祝	98.1	91.9	93.5	96.9
		計	94.5	90.2	90.0	94.6
	第三体育室	平日	60.8	56.9	52.3	68.2
		土日祝	69.2	65.8	67.2	72.3
		計	63.7	59.8	57.1	69.5
	第四体育室	平日	95.3	89.8	90.0	93.5
		土日祝	93.4	90.4	92.3	96.4
		計	94.7	90.0	90.7	94.5
研修室	平日	37.2	32.1	24.4	26.6	
	土日祝	56.5	41.4	28.5	45.2	
	計	43.6	35.1	25.7	32.7	
鴨谷野球場	平日	23.5	26.1	17.0	19.5	
	土日祝	78.4	80.3	72.1	81.5	
	計	43.6	45.1	36.6	41.9	
荒山テニスコート	平日	68.5	69.2	70.4	68.8	
	土日祝	97.5	98.0	98.8	98.3	
	計	76.9	77.4	78.4	78.3	